

## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月30日

上場会社名 株式会社アートネイチャー 上場取引所 東  
 コード番号 7823 URL http://www.artnature.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 五十嵐 祥剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 井上 裕章 TEL 03-3379-3334  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 2018年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	17,927	0.6	1,418	35.6	1,489	32.9	920	137.8
2018年3月期第2四半期	17,822	△4.7	1,045	△7.4	1,120	11.5	387	△38.5

（注）包括利益 2019年3月期第2四半期 834百万円（187.9%） 2018年3月期第2四半期 289百万円（△30.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	28.25	28.12
2018年3月期第2四半期	11.69	11.65

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	41,066	24,296	58.9	743.01
2018年3月期	40,888	24,021	58.6	731.51

（参考）自己資本 2019年3月期第2四半期 24,182百万円 2018年3月期 23,946百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	14.00	-	14.00	28.00
2019年3月期	-	14.00	-	-	-
2019年3月期（予想）	-	-	-	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	2.0	2,796	8.4	2,813	3.9	1,517	69.1	46.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	34,393,200株	2018年3月期	34,393,200株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,846,838株	2018年3月期	1,657,038株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	32,598,381株	2018年3月期2Q	33,143,005株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在まで入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内における企業収益の改善、雇用環境の改善が続き、消費動向も緩やかながら拡大傾向で推移しましたが、各地での記録的な豪雨や台風、地震などの災害が相次いだことや米中の貿易摩擦の動向による世界経済の下振れリスクが高まるなど先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社では2018年3月期を初年度とする「アートネイチャーREBORNプラン」の実現に向けて「お客様満足」、「体制革新」、「人財育成」、「従業員満足」の「4つのこだわり」を必ず実現させるべく「4つの実現」に進化させ、各種諸施策を実行してまいりました。

その結果、当連結累計期間の売上高は、17,927百万円(前年同四半期比0.6%増)となりました。売上高の増加、経費の効率的な使用により営業利益は1,418百万円(同35.6%増)、経常利益は1,489百万円(同32.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は920百万円(同137.8%増)となりました。

セグメント別の売上高の状況は次のとおりです。

#### <男性向け売上高>

男性向け売上高については、お客様担当制強化によるお客様の定着推進、お客様満足度向上に向けた販売スタッフの技術力・接客力の強化等の諸施策を実施した結果、10,616百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

#### <女性向け売上高>

女性向け売上高については、展示試着会の効率的かつ効果的な開催、販売スタッフの技術・接客・商品提案力などのスキル強化、長期的かつ継続的にお客様とのつながりを持てる体制づくり等の諸施策を実施しましたが、展示試着会における受注が伸び悩み新規売上が減少したため5,619百万円(同1.6%減)となりました。

#### <女性向け既製品売上高>

女性向け既製品ウィッグを販売する「ジュリア・オージェ」の売上高については、店舗毎のきめ細かなプロモーション、販売スタッフの技術・接客・商品提案力などのスキル強化等の諸施策を実施しましたが、既存店舗の売上高が伸びず1,179百万円(同8.2%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比178百万円増加し、41,066百万円となりました。これは、流動資産が140百万円、固定資産が38百万円増加したことによるものです。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比95百万円減少し、16,770百万円となりました。これは、流動負債が16百万円、固定負債が79百万円減少したことによるものです。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比274百万円増加し、24,296百万円となりました。これは、自己株式の取得や為替換算調整勘定が減少した一方、利益剰余金が増加したこと等によるものです。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は以下のとおりであり、第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末比901百万円増加し、17,303百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益1,480百万円に加え減価償却費487百万円、売上債権の減少614百万円、退職給付に係る負債の増加114百万円等があった一方、役員賞与引当金の減少35百万円、その他の営業支出578百万円等により、2,217百万円の資金収入(前年同四半期は1,497百万円の資金収入)となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出452百万円、無形固定資産の取得による支出76百万円等により、490百万円の資金支出(前年同四半期は679百万円の資金支出)となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出200百万円、リース債務の返済による支出12百万円、自己株式の取得147百万円、配当金の支払458百万円により、818百万円の資金支出(前年同四半期は748百万円の資金支出)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月15日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,530	17,509
受取手形及び売掛金	2,895	2,275
有価証券	140	20
商品及び製品	1,385	1,417
仕掛品	105	116
原材料及び貯蔵品	1,510	1,422
その他	859	806
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	23,426	23,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,210	5,308
その他(純額)	3,957	3,912
有形固定資産合計	9,167	9,221
無形固定資産		
その他	846	781
無形固定資産合計	846	781
投資その他の資産		
その他	7,504	7,553
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	7,447	7,497
固定資産合計	17,462	17,500
資産合計	40,888	41,066

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	151	242
1年内返済予定の長期借入金	400	400
未払金	2,413	1,625
未払法人税等	162	713
前受金	4,576	4,660
賞与引当金	845	854
役員賞与引当金	110	75
商品保証引当金	39	32
ポイント引当金	93	100
その他	995	1,067
流動負債合計	9,788	9,772
固定負債		
長期借入金	398	198
退職給付に係る負債	3,472	3,558
資産除去債務	1,332	1,381
その他	1,873	1,859
固定負債合計	7,077	6,998
負債合計	16,866	16,770
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,667	3,667
資本剰余金	3,557	3,558
利益剰余金	17,560	18,022
自己株式	△821	△963
株主資本合計	23,963	24,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	6
為替換算調整勘定	88	△22
退職給付に係る調整累計額	△106	△86
その他の包括利益累計額合計	△16	△102
新株予約権	61	101
非支配株主持分	13	12
純資産合計	24,021	24,296
負債純資産合計	40,888	41,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	17,822	17,927
売上原価	5,696	5,776
売上総利益	12,126	12,150
販売費及び一般管理費	11,080	10,732
営業利益	1,045	1,418
営業外収益		
受取利息	49	40
為替差益	27	34
その他	36	26
営業外収益合計	113	101
営業外費用		
支払利息	3	2
支払保証料	23	20
その他	11	7
営業外費用合計	38	30
経常利益	1,120	1,489
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	674	9
特別損失合計	674	9
税金等調整前四半期純利益	445	1,480
法人税、住民税及び事業税	444	607
法人税等調整額	△386	△47
法人税等合計	57	559
四半期純利益	387	920
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	387	920

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	387	920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	5
為替換算調整勘定	△144	△111
退職給付に係る調整額	26	20
その他の包括利益合計	△97	△85
四半期包括利益	289	834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	289	835
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	445	1,480
減価償却費	600	487
減損損失	674	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△134	8
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38	△35
商品保証引当金の増減額(△は減少)	△3	△6
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4	6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,664	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	139	114
受取利息	△49	△40
支払利息	3	2
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	462	614
たな卸資産の増減額(△は増加)	167	17
仕入債務の増減額(△は減少)	△1	93
前受金の増減額(△は減少)	91	84
その他	1,340	△578
小計	2,031	2,258
利息の受取額	53	42
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△584	△81
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,497	2,217
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△110	△225
定期預金の払戻による収入	110	274
有形固定資産の取得による支出	△437	△452
無形固定資産の取得による支出	△224	△76
長期貸付金の回収による収入	0	0
敷金及び保証金の差入による支出	△9	△33
敷金及び保証金の回収による収入	31	25
その他	△39	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△679	△490
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△200	△200
リース債務の返済による支出	△18	△12
自己株式の取得による支出	-	△147
配当金の支払額	△529	△458
財務活動によるキャッシュ・フロー	△748	△818
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37	901
現金及び現金同等物の期首残高	15,515	16,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,552	17,303

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。